

評価結果報告書

特定非営利活動法人 福祉総合評価機構

訪問調査及び協議実施	2004年2月9日・12日	評価決定委員会開催	2004年2月20日
------------	---------------	-----------	------------

受審施設	名称	和光市ほんちょう保育園 様			認可・認可外
	所在地	埼玉県和光市本町 31 - 18			
	運営主体	社会福祉法人朝霞地区福祉会 様			
	責任者	土田 憲久 先生	役職	施設長	
	職員数	32名 (園長1・正規保育士9・SCW1・看護師1・事務1・調理員1・加配保育士P9・午前P4・午後P5)			
定員	90名 / 訪問調査時在籍数 103名 (0歳5名・1歳14名・2歳19名・3歳23名・4歳21名・5歳21名)				

評価機関	名称	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構		
	所在地	東京都新宿区左門町3番地左門イレブンビル3階		
	評価決定委員	太田 孝昭	小笠原 文孝	桑戸 大雄
		迫田 圭子	清水 康之 (議長)	四村 保志
		白河 健一		
評価調査員	大江 恵子	小出 正治	渡部 史朗	

御園について実施いたしました第三者評価業務につきまして、その評価結果を下記の通りまとめさせていただきましたので、ご検収下さいませ。

2004年3月5日

和光市ほんちょう保育園 御中

特定非営利活動法人 福祉総合評価機構

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
評価項目	- 1 - (1) 保育所の保育理念及び基本方針が明文化されている。(42)		
	【判断基準】 a) 保育理念及びその理念に基づいた保育サービス提供の基本方針がいずれも明文化されている。 b) 保育理念及び保育サービス提供の基本方針がいずれも明文化されている。 c) 保育理念及び保育サービス提供の基本方針のいずれかが明文化されている。 d) 保育理念と保育サービス提供の基本方針のいずれも明文化されていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「パンフレット」「入園関係資料（お知らせとお願い、継続児保護者の皆様へお知らせとお願い）」「H15 事業計画」「H15.10.6 職員会資料」を確認。また事務所内の掲示物を確認した。パンフレット及び事務所内での理念や方針の明文化が確認された。保護者向け「入園関係資料」には明記されていない。	

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
評価項目	- 1 - (2) 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。(1)		
	【判断基準】 a) 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。 「 <u>保育所保育指針に適合している</u> 」と解釈する。 b) 保育計画は、保育の基本方針に基づき作成されているが、地域の実態や保護者の意向等は考慮されていない。 c) 保育計画が、保育の基本方針に基づいていない。 d) 保育計画が作成されていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	d	「H15事業計画」「年間指導計画(きんぎょ・うさぎ・ぱんだ・ひよこ・くじら組)」「月間指導計画」「週案」「個別月間記録表(月間指導計画等添付)」「児童票(1・K児)」を確認。0歳児については、「保育計画」と「年間指導計画」が一体となったものが作成されていたが、それ以外の年齢では「保育計画」が作成されていない。(指摘事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (2) 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	d	指摘	0歳児については、保育計画と年間指導計画が一体となったものが作成されていましたが、それ以外の年齢では「保育計画」が作成されていませんでした。「保育計画」は「保育所保育指針」をガイドラインとし、各年齢段階相互間における発達の特徴を縦割りで系列的に押さえた上で、子どもの発展していく成長を、経験内容も含めた能力・活動要素的な視点、あるいは「ねらい」的な視点からまとめ、御園の理念・方針や地域の実情、保護者の意向等も反映させつつ、成長発達の各段階に脈絡をもたせて作成するもので、年度ごとに個々のクラスが作成する指導計画の基本となるものです。要約しますと、子どもの発達段階に即してどのような内容を経験させていけばよいのか、その過程を体系化することです。早急に「保育計画」を作成して下さい。(参考資料:「保育所保育指針」(厚生労働省策定)、「あなたの園の自己点検」(全国社会福祉協議会))

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 1 - (2) 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	保育所保育指針及びあなたの園の自己点検を参考にし、指摘された年齢以外の「保育計画」を作成していきます。					

完了予定日
(または完了日)

平成16年6月

大項目名	I 発達援助の基本		中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
評価項目	- 1 - (3) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。(2)			
	【判断基準】 a) 定期的に指導計画の評価を行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。 b) - c) 定期的に指導計画の評価を行っているが、その結果が指導計画に反映されていない。 d) 定期的な指導計画の評価を行っていない。			
施設名	評価	判断根拠		
ほんちょう保育園	a	「年間指導計画(きんぎょ・うさぎ・ぱんだ・ひよこ・くじら組)」「月間指導計画」「週案」「個別月間記録表(月間指導計画等添付)」「児童票(1・K児)」「クラス会議録 9/11,11/14」「職員会議録 8/20,10/15」「保育士会議録 9/24, 10/22」「ブロック別会議録 6/26, 1/19」を確認。毎月の「月間指導計画」の評価・反省がクラス会議にて行われ、赤ペンで計画の評価、反省、改定が行われて、次月計画に反映されていた。また保育士会議にて9月に上半期の「年間指導計画」の反省が行われ、それに基づいて「年間指導計画」の改訂が行なわれているクラス(きりん)もあった。(推奨事項参照)		
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (3) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。		
施設名	評価	種別	記載内容	
ほんちょう保育園	a	推奨	毎月の「月間指導計画」の評価・反省がクラス会議にて行われ、その結果が次月計画に反映されていました。また保育士会議では9月に上半期の「年間指導計画」の反省が行われています。それに基づいて「年間指導計画」の改訂が行われているクラスも確認できました。ただ「年間指導計画」について、一部のクラスでその改定が記録されていないクラスがありました。月間指導計画策定時において、改定された年間指導計画を参照することが必要になるでしょうから、改定する内容をもれなく記入されることをおすすめします。	

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 1 - (3) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	年間指導計画の改定が記録されていない一部のクラスがありましたが、記入の漏れのないよう検査します。					

完了予定日
(または完了日)

平成16年4月

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
評価項目	- 1 - (4) 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。(45)		
	【判断基準】 a) 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。 b) - c) 保育の内容について、定期的に自己評価を行っているが、職員参加が図られていない。 d) 保育の内容について、定期的に自己評価を行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「年間指導計画(きんぎょ・うさぎ・ぱんだ・ひよこ・くじら組)」「月間指導計画」「週案」「個別月間記録表(月間指導計画等添付)」「児童票(1・K児)」「クラス会議録9/11,11/14」「職員会議録8/20,10/15」「保育士会議録9/24,10/22」「ブロック別会議録6/26,1/19」「保育の記録」を確認。クラス会議、保育士会議にて毎月の計画反省や行事反省が行われ、9/24保育士会議では半期の計画反省・評価、またブロック別会議では育成保育について、またクラス会議や職員会議で必要に応じて保育内容について話し合いがもたれていた。しかし「自己評価」という視点での記録が少なかった。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (4) 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	a	推奨	クラス会議や保育士会議また職員会議で、必要に応じて保育内容について話し合いがもたれていました。計画の反省や評価も各会議で行われています。ただ、「自己評価」という視点での議論(記録)については、その記録方法や内容が記録者やクラスによって異なります。御園における「自己評価の手法」を検討し、その活用方法までの手順を確立されてはいかがでしょうか。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 1 - (4) 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	「自己評価」の論議については、「自己評価の手法」を書籍「あなたの園の自己点検」を参考にしながら確立できるよう努めます。					

**完了予定日
(または完了日)**

平成17年3月

大項目名	I 発達援助の基本		中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
評価項目	- 1 - (5) 保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている。(44)			
	【判断基準】 a) 定例会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に（年に複数回）意見を聞くための場を設け、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っており、結果が次回の計画に反映されている。 b) 定例会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に（年に複数回）意見を聞くための場を設け、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っている。 c) 定例会議を含め、年間を通じて職員から意見を募集するか、又は定期的に（年に複数回）意見を聞くための場を設けているが、それを踏まえて、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っていない。 d) 定例会議を含め、保育の質の向上や改善に関し、職員からの意見を聞いていない。			
施設名	評価	判断根拠		
ほんちょう保育園	b	「年間指導計画（きんぎょ・うさぎ・ぱんだ・ひよこ・くじら組）」、「月間指導計画」、「週案」、「個別月間記録表（月間指導計画等添付）」、「児童票（I・K児）」、「クラス会議録 9/11, 11/14」、「職員会議録 8/20, 10/15」、「保育士会議録 9/24, 10/22」、「ブロック別会議録 6/26, 1/19」、「保育の記録」、「研修報告会議メモ 9/25, 10/23, 12/3, 12/22, 12/25, 1/6」、「H15 研修計画（派遣研修）」、「H14 研修報告会記録 8/23, 11/1, 1/17」を確認。ヒアリングにて園長より、東先生の研修参加後に環境改善について取り組んだ事例の説明があった。しかし一方で、研修や保育士個々の取り組みの園全体・保育内容への反映については、今ひとつという感が否めないとの説明もあった。（推奨事項参照）		
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (5) 保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている。		
施設名	評価	種別	記載内容	
ほんちょう保育園	b	推奨	東先生の研修参加後に環境改善について取り組んだ事例がヒアリングされていました。しかし、研修や保育士個々の取り組みについて、園全体や保育内容への反映が今ひとつできていないというお話もありました。研修報告会や各会議で保育内容についての話し合いを行われていますから、より確実に保育の質の向上や改善が図れるように、その内容の全職員への周知や理解を図る方法と、それを保育内容へ反映する方法の確立をなされることをおすすめします。	

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 1 - (5) 保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	保育の質の向上や改善が図れるよう、研修をさらに充実し園全体で保育内容に反映できるよう方法も確立していきます。					

**完了予定日
(または完了日)**

平成17年3月

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
評価項目	- 1 - (6) 保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取り組みを行っている。(43)		
	【判断基準】 a) 保育理念及び基本方針について、職員や保護者だけでなく、地域の住民や関係機関なども対象に含め、周知を図るための取り組みを行っている。 b) 保育理念及び基本方針について、職員や保護者に周知するための取り組みを行っているが、地域の住民、関係機関などには、その周知を図るための取り組みを行っていない。 c) 保育理念および基本方針について、職員に周知を図る取り組みを行っているが、保護者、関係者には行っていない。 d) 保育理念及び基本方針を職員、保護者、関係者いずれにも周知するための取り組みを行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	b	「パンフレット」「入園関係資料（お知らせとお願い、継続時保護者の皆様へお知らせとお願い）」「H15 事業計画」「H15.10.6 職員会資料」「事務所内掲示」「和光市HP」を確認。園長のヒアリングにて、職員には事務所内掲示と事業計画策定時や各会議などで、保護者には入園説明会時に、また保育園見学者にはパンフレットを配布し、関係機関として法人内他施設や市役所へのパンフレット配布などの説明を受けた。ただ、保護者のアンケート（問3）結果についての園長のコメントで、保護者や地域への日常的な周知に工夫が必要との認識を確認した。（推奨事項参照）	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (6) 保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取り組みを行っている。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	b	推奨	ヒアリングにて、新入園児の保護者にはパンフレットを配り、入園説明会時に御園の理念や方針について保護者へ説明している、との説明がありましたが、周知するための取り組みとして「入園関係資料」への明記や、登降園時に保護者が目にしやすい場所への掲示といった工夫をされてみてはいかがでしょうか。また関係者や地域への周知については、「園だより」などで情報の発信を図るなどの積極的な取り組みを期待します。

【施設記入】改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 1 - (6) 保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取り組みを行っている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	<p>入園の資料に添付し16年の入園説明会にて説明しました。 保護者に対しては、玄関に貼り、具体的な保育内容については、図式化及び活動等の写真を作成予定です。</p>					

完了予定日
(または完了日)

平成16年8月

項 目 別 所 見			
大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 1 理念・方針の明文化と整合性、自己評価
施設名	記 載 内 容		
ほんちょう保育園	<p>指導計画の策定や改定、また保育内容の質の向上や改善については、定期的な職員会議や保育士会議、またクラス会議において熱心な取り組みがなされており、職員の保育に対する積極的な姿勢がうかがえます。ただ、そのような取り組みの根拠となる「保育計画」の策定が急がれます。また、自己評価の手法や職員全体への周知・理解を図る方法など、手法さえ確立できれば、さらに効果的な取り組みができる面があります。ぜひ手法を確立して、さらによりよい保育の提供を目指されることを期待します。</p>		

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 2 保育のための環境
評価項目	- 2 - (1) 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。(12)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 採光に配慮している。</p> <p>イ 換気に配慮している。</p> <p>ウ 各部屋に湿温計などがあり、温度・湿度に配慮している。</p> <p>エ 手洗い場、トイレは、保育中も時折清掃し、不快なおいがないようにしている。</p> <p>オ 寝具の消毒や乾燥を定期的に行っている。</p> <p>カ 屋外の砂場や遊具の衛生面に配慮している。</p> <p>【総合判断基準】a.よく整備されている。 b. 概ね整備されている。c.整備が不十分である。 d.整備されていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合なし b.....1点不適合 c.....2点不適合 d.....3点以上不適合</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	視察にて換気や採光に配慮していることを確認。砂場はビニールシートをかけ、使用する都度はずしていることを確認。ヒアリングにて遊具は雑巾で拭き、砂場は年1回業者により消毒を実施。また「布団乾燥書類」を確認、業者により布団乾燥を年10回実施している。また、手洗い、トイレの清掃は日中午睡時、夕方は業者(17時より)が入り清掃している。	

【施設記入】改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 2 - (2) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	<p>園児用トイレのタオル共用については、使用の都度交換するようチェック表を作成しチェックし確認をします。 (4月より)</p> <p>園児用のコップの衛生管理については、日中は布巾を掛けるよう3月より実施し、共用していたークラスを4月より持参としました。</p> <p>配膳、休憩スペースの洗剤等は、箱に入れて棚の上に置き落下しないようにした。</p> <p>休憩室のドアが自由に開閉できる状況にある件は、鍵を設置し施錠の周知徹底を3月に図りました。</p>					

完了予定日
(または完了日)

平成16年3月 月

大項目名	I 発達援助の基本		中項目名	- 2 保育のための環境
評価項目	- 2 - (2) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。(52)			
	【判断基準】 a) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルがあり、適切に実施されている。 b) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルはないが、確立された手順のもとに適切に実施されている。 c) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルはあるが、適切に実施されていない。 d) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施されておらず、そのためのマニュアルもない。			
施設名	評価	判断根拠		
ほんちょう保育園	C	調理室に関して「衛生点検結果報告書(外部委託業者作成)」「給食会議録」を確認。また保育関係で「調理保育計画」「調理保育実施要領」を確認した。現場視察にて、園児用トイレの手ふきタオルの状況、園児用トイレや手洗い場のマットの状況、園児用コップの管理状況、離乳食配膳中職員の着衣の状況、2階の配膳・休憩スペース及び調乳室の水周り等の状況、給食室の状況を視認した。何点かにおいて改善を必要とする状況が見られた。(指摘事項参照)		
推奨事項 / 指摘事項		- 2 - (2) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。		
施設名	評価	種別	記載内容	
ほんちょう保育園	C	指摘	調理室に関しては外部委託業者による管理と、同法人内の「にいくら保育園」在籍の栄養士によって衛生的に管理されていました。しかし、保育関係では、以下の点において改善が必要です。 園児用トイレの園児用手ふきタオルの共用について、2時間ごとに交換するという規則を定めて実施しているとのことでした。しかし、その状況を管理するチェック表などが無く、管理が徹底されているとは言い難い状況です。園児用トイレ・手洗い場のマットについても同様で、いずれも感染症の温床になる可能性があります。チェック表の作成により、交換とその確認の徹底を図って下さい。なお、タオルの共用は厚生労働省も通知にて避けるよう指導しています(平成9年6月30日 児企第16号「保育所運営ハンドブック(平成15年版)」458~464ページ参照)ので、建物の構造上の問題はありますが、善処なさを要望します。 園児用コップが、トイレ入口前で不安定な状況で管理されていたり、園児のすぐ手の届く位置に常時置いてあったりする状況がありました。衛生的な管理がなされるよう改善を図って下さい。 配膳時の職員の着衣は、給食会議にてマニュアルが策定されており、配膳時専用のエプロンと三角巾の着用が義務付けてありましたが、それらの着用がされないまま配膳を行っていました。確実にマニュアルを実行するように改善して下さい。 2階の配膳・休憩スペースのシンクの状況は、配膳スペースに位置することから衛生的な管理が必要です。空き缶の放置や残	

		<p>菜のこびりつき、洗剤と漂白剤の並置などは改善すべきです。給食室のシンクと同様の衛生管理を図って下さい。</p> <p>2階の配膳・休憩スペースには鍵がかかっておらず子どもがドアを自由に開閉できます。配膳・休憩スペースのシンク下には、洗剤が置いてあり、その横にはポットも設置されていました。ドアの開閉が自由に行えない配慮をするか、中の安全管理を徹底されるか何らかの改善を図って下さい。</p>
--	--	--

大項目名	Ⅰ 発達援助の基本	中項目名	- 2 保育のための環境
評価項目	- 2 - (3) 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。(13)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 子どもが不安になった時などにいつでも応じられるように、保育者が身近にいる。【0～2歳児】</p> <p>イ 一人一人の子どもがくつろいだり落ち着ける場所がある。</p> <p>ウ 眠くなった時に安心して眠ることができる空間が確保されている。【0～1歳児】</p> <p>エ 食事のための空間が確保されている。</p> <p>オ 季節にあわせてインテリアが工夫されている。</p> <p>カ 音楽や保育者の声など、音に配慮している。</p> <p>キ 屋外での活動の場が確保されている。</p> <p>【総合判断基準】 a.よい取り組みが行われている。 b.概ね取り組みが行われている。 c.取り組みが不十分である。 d.取り組みが行われていない。 (判断のめやす) a.....不適合1点以内 b.....2～3点不適合 c.....4～5点不適合 d.....6点以上不適合</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	視察にて0・1歳児の部屋には、畳スペース・活動スペース・サンルーフスペース・食事のスペースを設置、眠たくなった子は、サンルーフや畳のスペースを利用していることを確認。玄関先や階段、部屋には観葉植物が飾られていることを確認。ヒアリングにて壁面は季節に応じた装飾を職員が掲示していることを確認。生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っていることが確認された。	

大項目名	I 発達援助の基本		中項目名	- 2 保育のための環境
評価項目	- 2 - (4) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。(23)			
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 好きなことをしてくつろげる空間や遊具がある。</p> <p>イ 長時間保育を受ける子どもに夕食や軽食が提供されている。</p> <p>ウ 一人一人の子どもの要求に応えて、抱いたり、声をかけるなど、ゆったりと接している。</p> <p>エ 異年齢の子ども同士で遊べるように配慮されている。</p> <p>オ 子どもの状況について、職員間の引継ぎを適切に行っている。</p> <p>【総合判断基準】a.よく配慮されている。 b.概ね配慮されている。c.配慮が不十分である。 d.配慮されていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合なし b.....不適合2点以内 c.....3～4点不適合 d.....不適合5点以上</p>			
施設名	評価	判断根拠		
ほんちょう保育園	a	朝は、0・1歳児の部屋にて受け入れを行い、8時30分から各クラスにて保育を実施。夕方17時15分以降は2歳以上児はホールにて粘土・紙芝居・ゲームを設定。0・1歳児は部屋でおままごと・紐通し・色塗りを設定し、自由に行っているのを確認。軽食は2歳児の部屋で、夜食は0歳児の部屋でとること。延長保育の時間帯に関して「保育士会議（H15.3.29、7.23）」が実施されていることを確認。送迎の際の連絡は、遅番職員に口頭で申し送りを行っていることをヒアリングにて確認。（推奨事項参照）		
推奨事項 / 指摘事項		- 2 - (4) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。		
施設名	評価	種別	記載内容	
ほんちょう保育園	a	推奨	延長保育の時間帯の過ごし方について保育士会議を実施するなど充実を図るための取り組みをされています。ただ、保護者への伝達に関して、遅番職員には口頭で担当職員から申し伝えるようにし、遅番職員はメモを取っているということでしたが、アンケートにもコミュニケーションが不足している点を指摘している記述もありますので、伝達方法を確立されることをおすすめします。	

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 2 - (4) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	<p>延長保育での引継ぎについては、口頭にて各クラスより引継ぎしてきたが、十分に伝達及び漏れのないよう「引継ぎの様式」を決め、4月より実施します。また保育士会議等でも保育の内容や方法について適宜見直し延長保育の充実を図っていきます。</p>					

完了予定日
(または完了日)

随時

大項目名	Ⅰ 発達援助の基本	中項目名	- 2 保育のための環境
評価項目	- 2 - (5) 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。(16)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 子どもの発達段階に即した玩具や遊具が用意されている。</p> <p>イ 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。</p> <p>ウ 好きな遊びができるコーナーが用意されている。</p> <p>エ 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。</p> <p>【総合判断基準】a.環境がよく整備されている。 b.概ね整備されている。 c.整備が不十分である。 d.整備されていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合なし b..... 1点不適合 c..... 2点不適合 d.....不適合3点以上</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	視察にて1歳児及び2歳児には絵本やおもちゃのコーナー、3歳児にはままごとコーナー、4歳児にはパズル・クレヨン・紙・鉛筆・粘土・絵本を棚に設置、5歳児の廊下には絵本のコーナーを設置されていることを確認。ヒアリングにて絵本は年齢に応じて用意していることを確認。ヒアリングにて、朝の8時30分から9時30分、夕方16時過ぎの時間帯は自由に遊べる時間を確保していることを確認。	

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 2 保育のための環境
評価項目	- 2 - (6) さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。(18)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 子どもが自由に歌ったり、踊ったりする場面がみられる。</p> <p>イ さまざまな楽器を楽しめるようになっている。</p> <p>ウ クレヨン・絵具・粘土・紙など、様々な素材を子どもたちが自分で使えるように用意されている。</p> <p>エ 子どもの作品が保育に活かされたり、工夫して飾られたりするなど、大切に扱われている。</p> <p>オ 身体を使った様々な表現遊びが取り入れられている。</p> <p>カ 絵本の読みきかせや紙芝居などを積極的に取り入れている。</p> <p>【総合判断基準】 a.よく配慮されている。 b.どちらかといえば配慮されている。 c. 配慮が不十分である。 d.配慮されていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合1点以内 b.....2点不適合 c.....3点不適合 d.....不適合4点以上</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	視察にて子どもの作品が壁面に飾られていることを確認。絵本を読み、その内容を行事に反映させていることをヒアリングにて確認。4歳児「年間指導計画」「1月指導計画」「保育の記録」「2月クラスだより」から、生活発表会に取り入れる劇遊びを日頃読んできた絵本から取り入れていることを確認。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 2 - (6) さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	a	推奨	日頃の絵本の取り組みを行事へ展開していることが確認できました。ただ、生活発表会に向けての具体的取り組み内容・方法の記載が「1月の指導計画」「クラス会議録」にもありませんでした。劇遊びを展開していくにあたり、どのように実践していくのか、また実践した内容や方法は子どもたちにとってどうだったのか、それを次月にどのように反映させていくのか、計画策定及び実施に関して、具体的に記述をし、計画が実施されていくことを期待します。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 2 - (6) さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	生活発表会での具体的な取り組みの記載が一部のクラスで指導計画及び会議等で展開、実践、内容や子どもへの反映の記載がありませんでした。より具体的な計画がわかるように特に行事については記載漏れのないよう心がけていくよう努めます。					

完了予定日

随時

項 目 別 所 見			
大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 2 保育のための環境
施設名	記 載 内 容		
ほんちょう保育園	<p>子どもたちが生活をするのに相応しい環境を提供していこうと手作りで柵を作成する等環境改善のための努力が伺われました。ただ、衛生管理に関して改善すべき点がありましたので、今後は改善を図り、今以上により保育環境が提供できるように設定をされていかれることを期待いたします。</p>		

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 3 保育サービス(ベーシック)
評価項目	- 3 - (1) 身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている。(17)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 子どもが身近に動植物に接する機会をつくっている。</p> <p>イ 園庭や散歩で拾ってきた葉や木の実など、季節感のある素材を活用している。</p> <p>ウ 散歩などで地域の人たちに接する機会をつくっている。</p> <p>エ 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。</p> <p>【総合判断基準】</p> <p>a.よく取り組みがなされている。 b.概ね取り組みがなされている。 c.取り組みが不十分である。 d.取り組みがなされていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合なし b.....1点不適合 c.....2点不適合 d.....不適合3点以上</p> <p>(ア・イについては地域性を考慮し、施設の状況に応じた取り組みがなされていれば可とする)</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	視察にてウサギ・金魚の飼育を確認。ヒアリングにて散歩時に「児童センター・図書館・消防署・スーパーマーケット」に行ったり、園開放事業として、もちつき大会で、菅野保育室(院内保育)、遊ぼう会(地域開放事業)の人達を招いたりしていることを確認。交流保育事業として朝光苑・デイサービスに4・5歳児が月1回交流し、「C Iハイツ敬老会(9/9)」を実施していることを「年間指導計画」「月間指導計画」「保育の記録」「園便り」にて確認。	

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 3 保育サービス(ベーシック)
評価項目	- 3 - (2) 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。(19)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 子ども同士の関係をよりよくするような適切な言葉かけをしている。</p> <p>イ けんかの場面では、危険のないように注意しながら、子どもたち同士で解決するように援助している。</p> <p>ウ 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。</p> <p>エ 当番活動などが日常生活の中で行われている。</p> <p>オ 異年齢の子どもの交流が行われている。</p> <p>【総合判断基準】a.よく配慮されている。 b.概ね配慮されている。c.配慮が不十分である。 d.配慮されていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合1点以下 b.....2点不適合 c.....3点不適合 d.....不適合4点以上</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	<p>視察にて当番活動を3歳以上児から取り入れていることを確認。4歳児は、金魚の世話、5歳児はウサギの世話をしていることもヒアリングにて確認。</p> <p>また異年齢の交流として3歳以上児を3つに分けた「幼児集会」を設定し実施していることを「幼児ブロック会議録」「幼児集会の記録」にて確認。週1回リトミックも異年齢で構成されていることをヒアリングにて確認。5歳児「年間指導計画(集団づくり)」「5月指導計画」「6月指導計画」にて社会的ルールを身につける取り組みを実施していることを確認。</p>	

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 3 保育サービス(ベーシック)
評価項目	- 3 - (3) 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。(20)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 子どもが、自分の意見を保育者などの大人にはっきり言うことができるよう配慮している。</p> <p>イ 子どもが、他の子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。</p> <p>ウ 一人一人の子どもの生活習慣や文化、考え方などの違いを知り、それを尊重する心を育てるよう努めている。</p> <p>エ 子どもの人権への配慮や互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っている。</p> <p>オ 子どもの権利擁護に関する研修等に職員が参加している。</p> <p>【総合判断基準】a.よく配慮されている。 b.概ね配慮されている。c.配慮が不十分である。 d.配慮されていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合1点以下 b.....2点不適合 c.....3点不適合 d.....不適合4点以上</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	b	<p>「父の日」「母の日」ではなく、「ありがとうの日(6/2)」を実施していることを「行事予定表」、5歳児「年間指導計画」「5月指導計画」「保育の記録」にて確認。夏場のプール後のシャワーに関して4・5歳児は、男女別グループで堀のある水場の温水シャワーを使用していることをヒアリングにて確認。研修として「人権保育実践交流会(H16.1.25)」に参加しているが、周知は行っていないとのこと。また、3・4歳児のトイレにはドアが設置されていなかった。(推奨事項参照)</p>	
推奨事項 / 指摘事項		- 3 - (3) 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	b	推奨	3・4歳児のトイレに関して、年齢的に介助が必要であるためトイレのドアは設置されていないということでしたが、トイレの入口の便器は廊下からも見える状態です。構造上や介助の必要性からドアの設置が難しい面もあるでしょうが、何らかの配慮をされることをおすすめします。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 3 - (3) 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	3、4歳児の洋式トイレのドアが設置されていない点は、個別のドアかカーテン等で隠せるよう改善方法を検討しています。					

**完了予定日
(または完了日)**

随時

大項目名	I 発達援助の基本		中項目名	- 3 保育サービス(ベーシック)
評価項目	- 3 - (4) 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。(21)			
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないための配慮について、マニュアルや会議などを通じ、職員間での意思統一が図られている。</p> <p>イ 子どもの態度や服装、遊び方などについて、性差への先入観による固定的な対応をしていない。</p> <p>ウ 育児、家事、介護などについて、性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識などを植え付けないよう配慮している。</p> <p>エ 職業について、性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識などを植え付けないよう配慮している。</p> <p>【総合判断基準】a.よく配慮されている。 b.概ね配慮されている。 c.配慮が不十分である。 d.配慮されていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合なし b.....1点不適合 c.....2~3点不適合 d.....適合なし</p>			
施設名	評価	判断根拠		
ほんちょう保育園	b	ヒアリングにて名簿は生年月日順、「行事」「通知文」「園だより」「クラスだより」「各指導計画」により、性差に関して配慮がなされていることを確認。ただ、性差に関し、マニュアル、研修、会議の実態は確認されなかった。(推奨事項参照)		
推奨事項 / 指摘事項		- 3 - (4) 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。		
施設名	評価	種別	記載内容	
ほんちょう保育園	b	推奨	ヒアリングにて、職員の中には男女を分けた言葉かけをしていることがみられ、今後の課題となっているということでした。現段階では、性差に関するマニュアルや会議が実施されていませんので、今後はマニュアルの作成、会議の実施をすることによって、職員間で意識統一を図られることをおすすめします。	

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 3 - (4) 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	性差での先入観や固定観念等の意識をもたぬよう、職員の研修に努めます。					

完了予定日
(または完了日)

随時

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 3 保育サービス(ベーシック)
評価項目	- 3 - (5) 食事を楽しむことができる工夫をしている。(11)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 食事をする部屋としての雰囲気づくりに配慮している。</p> <p>イ 食器の材質や形などに配慮している。</p> <p>ウ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。</p> <p>エ 子どもの負担になるほどに、残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていない。</p> <p>オ 子どもが落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。</p> <p>カ 時には戸外で食べるなど、様々な食事のスタイルの工夫がある。</p> <p>キ おやつは、手作りを心がけている。</p> <p>ク 旬のものや季節感のある食材やメニューを取り入れている。</p> <p>ケ 嗜好や喫食状況に基づき食事内容を改善している。</p> <p>コ 子どもが育てた野菜などを料理して食べることがある。</p> <p>サ 子どもが配膳や後片づけなどに参加できるよう配慮している。</p> <p>シ 調理作業をしている場面を子どもたちがみたり、言葉を交わしたりできるような工夫を行っている。</p> <p>【総合判断基準】a.よく工夫をしている。 b.概ね工夫をしている。 c.工夫はしているが、不十分である。 d.工夫をしていない。 (判断のめやす) a.....不適合2点以下 b.....3～4点不適合 c.....5～10点不適合 d.....11点以上不適合 (コについては、地域性により実施が困難である場合は、不適合であってもカウントする必要はない)</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	<p>視察にて、5歳児は給食当番により配膳がなされていることを確認。「給食会議録」「献立表」を確認。「行事食写真」により流しそうめんを園庭のプールで実施していることを確認。ヒアリングにて園庭でプチトマト、枝豆、ピーマンを栽培。5歳児「年間計画」「12月指導計画」「保育の記録」によりクッキー作りや秋刀魚を焼く等「調理保育(月1回実施)」が実施されていることを確認。0・1・2歳児に関しては、喫食状況を連絡帳に記載。「献立希望表」が毎月職員に実施され、季節の献立、食材等の希望をとり、給食に反映させているということをヒアリングにて確認。</p>	

項 目 別 所 見

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 3 保育サービス（ベーシック）
施設名	記 載 内 容		
ほんちょう保育園	<p>身近な自然や社会との交流を深める保育を積極的に取り入れ、子どもの豊かな心の育ちを大切にしている保育の実践を確認できました。ただ、性差や人権に関して一部配慮を要する事項がありますので、今後は保育環境の見直しを行う中で、更によりよい保育が提供されていかれることを期待いたします。</p>		

大項目名	Ⅰ 発達援助の基本		中項目名	- 4 保育サービス(オプション)
評価項目	- 4 - (1) 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。(22)			
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 授乳は、子どもが欲しがるときに、抱いて目をあわせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている。</p> <p>イ 離乳食については、家庭と連携をとりながら、一人一人の子どもの状況に配慮して行っている。</p> <p>ウ おむつ交換時は、やさしく声をかけたり、スキンシップをとりながら行っている。</p> <p>エ 一人一人の生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。</p> <p>オ 外気に触れたり、戸外遊びを行う機会を設けている。</p> <p>カ 喃語には、ゆったりとやさしく応えている。</p> <p>キ 顔を見合ってあやしたり、乳児とのやりとりや触れ合い遊びを行っている。</p> <p>ク たて抱き、腹這いなど、子どもの姿勢を変えている。</p> <p>ケ 寝返りのできない乳児を寝かせる場合には仰向けに寝かせている。</p> <p>コ 特定の保育者との継続的な関わりが保てるよう配慮している。</p> <p>【総合判断基準】</p> <p>a.よく配慮されている。 b.概ね配慮されている。 c.配慮が不十分である。 d.配慮されていない。</p> <p>(判断のめやす)</p> <p>a.....不適合1点以内 b.....2～3点不適合 c.....4～6点不適合 d.....不適合7点以上</p>			
施設名	評価	判断根拠		
ほんちょう保育園	a	視察にて畳のスペース・サンルーフのスペースを設置、オムツ替え用の台には手作りで衝立を作成、採光に配慮し電気の下にカーテンを設置できるような配慮をしていることを確認。離乳食に関して「9月離乳食会議(栄養士・調理員・0歳児担当)」(9/29実施)を開催し、10月の予定を作成している。全職員には「給食会議」で周知を行っている。また、「0歳児年間指導計画」「月間指導計画」「クラス会議」「保育の記録」「発達記録表」を確認。(推奨事項参照)		
推奨事項 / 指摘事項		- 4 - (1) 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。		
施設名	評価	種別	記載内容	
ほんちょう保育園	a	推奨	0歳児「年間指導計画」「月間指導計画」が策定され、その月の評価反省及び次月への指導計画策定のための「クラス会議」を実施していました。ただ、「1月のクラス会議録」には「個々の様子」及び「3ヶ月目標」は記録としてありましたが、毎月の個別計画は策定されていませんでした。発達過程に格差がある乳児ですので、個々に応じた計画を策定し、適切な援助がなされていられることをおすすめします。	

【施設記入】改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 4 - (1) 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	個別計画の策定を毎月作成し、適切な援助がなされるようにとの指摘については、発達過程に格差のある乳児に対して実施してきた「個々の様子」及び「3ヶ月目標」を平成16年度より「日々の記録と毎月の個別計画」を策定することとしました。					

完了予定日
(または完了日)

随時

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 4 保育サービス（オプションル）
評価項目	- 4 - (2) 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。(24)		
	<p>ア 障害のない子どもの、障害児への関わりに対して配慮している。</p> <p>イ 園舎はバリアフリーの配慮がみられる。</p> <p>ウ 障害児の特性に合わせた園での生活の仕方の計画が立てられている。</p> <p>エ 障害児保育について保育所全体で定期的に話し合う機会を設けている。</p> <p>オ 障害児保育に携わる者は、障害児保育に関する研修を受けている。</p> <p>カ 医療機関や専門機関から相談や助言を必要に応じて受けられる。</p> <p>キ 保護者に、障害児に関する適切な情報を伝えるための取り組みを行っている。</p> <p>【総合判断基準】a.よく配慮されている。 b.概ね配慮されている。c.配慮が不十分である。 d.配慮されていない。 (判断のめやす) a.....不適合1点以内 b.....2点不適合 c.....3～4点不適合 d.....不適合5点以上 (評価実施時点において当該施設に障害児がいない、もしくは入所の見込みがない場合は評価を行わず、その旨付記する)</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「児童票(S・S、K・R児)」「育成保育連絡委員会資料(育成保育研修会資料)」「巡回相談資料」「個別指導計画(面談記録)」「育成(一時)保育要領(市作成)」「育成保育入園検討会」「職員会議録」「保育士会議録」「クラス会議録」を確認。育成保育対象児について個別指導計画が作成されており、育成保育に関する内容や方法についての議論もなされていた。	

項目別所見			
大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 4 保育サービス（オプションル）
施設名	記載内容		
ほんちょう保育園	乳児保育や障害児保育に関し、記録もとられ、乳児・障害児に関しての育ちの保障をしていくために努力をされていることが確認されました。今後も、環境設定を含めて様々な取り組みを実践されていく中で、今以上によりよい保育を実施していけることを期待いたします。		

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 5 一人一人の子どもへの理解・配慮
評価項目	- 5 - (1) 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。(3)		
	【判断基準】 a) 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。 b) 子どもの発達状況に配慮しているが、一人一人に配慮した指導計画となっていない。 c) 子どもの発達状況の把握に努めているが、それに配慮した指導計画となっていない。 d) 子どもの発達状況の把握に努めていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「年間指導計画(きんぎょ・うさぎ・ぱんだ・ひよこ・くじら組)」「月間指導計画」「週案」「個別月間記録表(月間指導計画等添付)」「児童票(I・K、N・H、M・A 児)」「クラス会議録 9/11, 11/14」「職員会議録 8/20, 10/15」「保育士会議録 9/24、0/22」「ブロック別会議録 6/26、1/19」「保育の記録」「ケース会議録(12/10、H・S 児)」「個別面談記録(11 月実施)」を確認。園児一人ひとりの毎月の発達記録は確認されたが、3 歳未満児について「個別指導計画」またはそれに代わる個別の発達に配慮した計画は作成されていない。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 5 - (1) 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	a	推奨	3 歳未満児については、「保育所保育指針」に「個別的な指導計画」を策定するように示唆されています。月齢差や発達差が著しい子ども(年齢)に対して、個々の保育士で対応や配慮にバラつきがないようにするためには、一人ひとりの子どもについて指導計画を策定することが必要です。どの年齢まで個別計画が必要かという議論はありますが、その検討も含めて、一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画を策定されることを期待します。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 5 - (1) 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	3歳未満児について、「個別的な指導計画」を策定するようとの指摘については、保育士個々の対応や配慮にバラツキのないよう毎月の会議にて充分話し合われておらず、個々の発達状況に配慮した指導計画が策定できるよう論議していきます。尚、平成16年度より個々の発達記録を様式として作成し計画作成の一助となるよう努めます。					

完了予定日
(または完了日)

随時

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 5 一人一人の子どもへの理解・配慮
評価項目	- 5 - (2) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。(4)		
	【判断基準】 a) 一人一人の子どもの記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。 b) - c) 一人一人の子どもの記録があるが、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されていない。 d) 一人一人の子どもの記録がない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「年間指導計画(きんぎょ・うさぎ・ぱんだ・ひよこ・くじら組)」「月間指導計画」「週案」「個別月間記録表(月間指導計画等添付)」「児童票(I・K、N・H、M・A児)」「クラス会議録 9/11,11/14」「職員会議録 8/20,10/15」「保育士会議録 9/24、10/22」「ブロック別会議録 6/26、1/19」「保育の記録」「ケース会議録」(12/10、H・S児)」「個別面談記録(11月実施)」「連絡帳(I・K児)」「業務日誌」を確認。毎月の発達記録やその記録の指導計画への反映を確認した。ヒアリングにて、保育課題の把握に関する視点の統一や関係職員の周知についての問題点が確認された。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 5 - (2) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	a	推奨	一人ひとりの子どもの保育課題の把握について、その保育課題を抽出する視点の統一を図りたいというお話がありました。日々の会議やケース検討研修(会議)で、意見交換や研修会を通じて保育課題の把握方法や視点の標準化を図られることを期待します。また、関係職員への周知についても、前述の会議や研修を利用したり、確実に周知できるしくみを構築したりするなどの取り組みを期待します。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 5 - (2) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。					
<p>推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)</p>		<p>職員会議や保育士会議にて確認、周知しているが、個々の保育課題を理解できるようその方法を構築してまいります。</p>				

完了予定日 (または完了日)	随時
-------------------	----

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 5 一人一人の子どもへの理解・配慮
評価項目	- 5 - (3) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。(5)		
	【判断基準】 a) ケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。 b) ケース会議を必要に応じて開催しているが、定期的には開催していない。 c) - d) ケース会議を開催していない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「年間指導計画(きんぎょ・うさぎ・ぱんだ・ひよこ・くじら組)」「月間指導計画」「週案」「個別月間記録表(月間指導計画等添付)」「児童票(I・K、N・H、M・A児)」「クラス会議録9/11,11/14」「職員会議録8/20,10/15」「保育士会議録9/24、10/22」「ブロック別会議録6/26、1/19」「保育の記録」「ケース会議録(12/10、H・S児)」「個別面談記録(11月実施)」「連絡帳(I・K児)」「業務日誌」を確認。個別の事例を用いた形でのケース会議は、本年度はまだ1回のみで開催であるが、クラス会議や保育士会議においては必要に応じて話し合いを持っていることが確認された。またヒアリングにて、それら会議の結果が計画や実践へ確実に反映されているかという点で、あまり自信がないとの見解が示されたほか、専門家による市の巡回相談の中で、配慮を要する子どもについて指導を受け、それに基づいて取り組みを職員間で話し合い、実施しているとの説明があった。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 5 - (3) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	a	推奨	個別の事例を用いた形でのケース会議は、本年度はまだ1回のみで開催でしたが、クラス会議や保育士会議においては必要に応じて話し合いを持っていることが記録されていました。それら会議の結果が計画や実践へ確実に反映されているかという点で、あまり自信がないというお話がありましたが、- 5 - (2)の推奨事項に合わせて、会議などの結果を計画や実践に反映する手法を構築されることを期待します。

【施設記入】改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 5 - (3) 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	会議での結果の実践経緯を、経過を見て報告している。					

完了予定日
(または完了日)

随時

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 5 一人一人の子どもへの理解・配慮
評価項目	- 5 - (4) 子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。(14)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 子どもに分かりやすい温かな言葉づかいで、おだやかに話している。</p> <p>イ 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしている。</p> <p>ウ 子どもの質問に対して、可能な限りその場で対応するよう努めている。</p> <p>エ 「できない」「やって」などと言ってくる子どもに対して、その都度気持ちを受け止めて対応している。</p> <p>オ 「いや」などと駄々をこねたり、自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。</p> <p>カ 登園時に泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ったりするのではなく、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしている。</p> <p>【総合判断基準】</p> <p>a.子どもをよく受容しようと努めている。 b.概ね子どもを受容しようと努めている。 c.子どもを受容しようとする努力が不十分である。</p> <p>d.子どもを受容しようと努めていない。</p> <p>(判断のめやす)</p> <p>a.....不適合1点以下 b.....2～3点不適合 c.....4点不適合 d.....5点以上不適合</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「年間指導計画(きんぎょ・うさぎ・ぱんだ・ひよこ・くじら組)」「月間指導計画」「週案」「個別月間記録表(月間指導計画等添付)」「児童票(Ⅰ・K、N・H、M・A児)」「クラス会議録9/11,11/14」「職員会議録8/20,10/15」「保育士会議録9/24、10/22」「ブロック別会議録6/26、1/19」「保育の記録」「ケース会議録」(12/10、H・S児)」「個別面談記録(11月実施)」「連絡帳(Ⅰ・K児)」「業務日誌」を確認。また保育現場の視察と主任からのヒアリングも行い、保育の実態を確認した。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 5 - (4) 子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	a	推奨	- 5 - (1)、 - 5 - (2)、 - 5 - (3)の推奨事項に記述した手法などの構築に合わせて、職員間での共通理解を図り、一人ひとりの子どもへの対応や配慮に、保育士ごとのバラつきがないように配慮した取り組みが図られることを期待します。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 5 - (4) 子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	個々への対応、配慮に保育士のバラつきが発生しないよう会議のみでなく、日々口頭でも指示、確認しあえるよう努めます。					

完了予定日
(または完了日)

随時

大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 5 一人一人の子どもへの理解・配慮
評価項目	- 5 - (5) 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子ども状況に応じて対応している。(15)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 可能な限り、トイレに行くことをせかしたり、強制したりせずに、一人一人のリズムに合わせるようにしている。</p> <p>イ おもらしをしたときに、その都度やさしく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮している。</p> <p>ウ 可能な限り、衣服の脱ぎ着に際して、せかしたり、着せてしまったりしないで、自分でやろうとする子どもの気持ちを大切にしている。</p> <p>エ 子どもが自分で着脱しやすいように、衣類の整理の仕方や着方の援助について工夫がみられる。</p> <p>オ 休息時には、子守歌を歌ったり、背中を軽くたたかなど、安心して心地よい眠りにつけるように配慮している。</p> <p>カ 休息時間以外でも、一人一人の状況に応じて、眠らせたり、身体を休ませるようにさせたりしている。</p> <p>キ 休息時間に、眠くない子どもへの配慮をしている。</p> <p>【総合判断基準】</p> <p>a.一人一人の子ども状況に応じてよく対応している。b.一人一人の子ども状況に応じ、概ねよく対応している。</p> <p>c.一人一人の子ども状況に応じた対応が不十分である。d.一人一人の子ども状況に応じた対応をしていない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合1点以下 b.....不適合2～3点 c.....不適合4点 d.....不適合5点以上</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	<p>ヒアリングにて、トイレは時間を区切っているが強制はしていないということ、5歳児は就学前なので昼寝をしない日を週一回取り入れていること、2歳児はボタンに興味を持った時点でボタンのついたパジャマを用意していること、1歳児の着替えに際しては座る場所を設定し着替えがスムーズに行えるように配慮していることを確認。視察にて、4歳児が外遊び前に着替えを事前にセットし、着替えがスムーズに行えるように配慮していることを確認。「年間指導計画(きんぎょ・うさぎ・ぱんだ・ひよこ・くじら組)」「月間指導計画」「週案」「個別月間記録表(月間指導計画等添付)」「児童票(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ・Ⅸ・Ⅹ・Ⅺ・Ⅻ児)」「クラス会議録9/11,11/14」「職員会議録8/20,10/15」「保育士会議録9/24,10/22」「ブロック別会議録6/26,1/19」「保育の記録」「ケース会議録(12/10, H・S児)」「個別面談記録(11月実施)」「連絡帳(Ⅰ・Ⅱ児)」「業務日誌」を確認。一人ひとりの子ども状況に応じて対応していることが確認された。</p>	

項 目 別 所 見			
大項目名	I 発達援助の基本	中項目名	- 5 一人一人の子どもへの理解・配慮
施設名	記 載 内 容		
ほんちょう保育園	<p>一人ひとりの子どもへの理解や配慮、受容について、各クラス会議や保育士会議などの記録類や視察にて、しっかりと個別に配慮や受容を図ろうとする取り組みが確認されました。ただ、未満児の個別的な計画が未策定であり、会議や研修の結果の計画や保育への反映については、具体的な手法の確立が図られていませんでした。一人ひとりの子どもたちに対して、個々に必要な配慮や受容がさらに確実に提供されるための仕組みづくりや取り組みを期待します。</p>		

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (1) 登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。(6)		
	【判断基準】 a) 健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。 b) 健康管理は、マニュアルなどはないが、各児童の健康状況に応じて実施している。 c) - d) 健康管理は、子ども一人一人の健康状態に応じて実施していない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	b	「看護日誌」「業務日誌」「治療簿」「与薬依頼カード」「健康記録(うさぎ組)」を確認し、ヒアリングにて実施状況を聞き取り。受け入れ時に保育士が保護者から確認した子どもの健康状況を朝会にて看護師に報告、看護師が巡回、対応している。保育中の処置は「治療簿」に、検診結果は個別の「健康記録」に記録する。自己評価およびヒアリングにて、現在文書化されたマニュアルがなく、その必要性について言及があった。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (1) 登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	b	推奨	ヒアリングにおいては、子どもの日常の健康状態把握・健康管理については確立された手順があることを確認しましたが、文書化されたマニュアルがないため、保育士によって対応にばらつきが生じる可能性があり、若い層の保育士への教育の必要からも、マニュアルの作成が必要であるのご見解を、ヒアリングおよび自己評価から伺いました。今後はマニュアルを整備し、判断基準や対応のしかたについて職員間での共有を図ることをおすすめします。

【施設記入】改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 1 - (1) 登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	健康状態の把握、健康管理についてのシステムは確立された手順があるが、保育士によりその理解、対応能力はマチマチである。さらに対応できるよう個人学習、健康管理研修や管理システムの方法を確立していく。					

**完了予定日
(または完了日)**

随時

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (2) 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。(7)		
	【判断基準】 a) 健診結果について、保護者や職員に伝達し、保育に反映させている。 b) - c) 健診結果について、保護者や職員に伝達しているが、保育に反映させていない。 d) 健診結果について、保護者や職員に伝達していない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	b	「定期健康診断結果のお知らせ」「歯科検診結果一覧表」「ぎょう虫検査結果報告書」「尿検査結果報告書」「平成 15 年度 5 月内科健康診断の結果記録」「健康記録(うさぎ組)」「職員会議録」「業務日誌」を確認し、ヒアリングにて実施状況を聞き取り。健康診断結果は書面にて保護者に伝達し、そのコピーを園にて保管する。各種検診結果は「健康記録」への記録とファイル化によって管理されている。職員への結果の伝達は一覧表のクラスごとの配付のほか、口頭連絡により職員に伝達すること。なお、口頭連絡については実施の記録が確認できなかった。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (2) 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	b	推奨	健診結果について、医師から指摘があった場合は口頭により直接伝達することでしたが、その実施の記録が確認できませんでした。また、5・6月の「職員会議録」に、歯科検診の結果について「別紙参照」との記載がありましたが、その別紙が添付されていませんでした。健診結果のうち、職員間での共通認識が必要な情報については、口頭での連絡とともに、事後の確認や連絡漏れ防止のため、記録を残しておかれることをおすすめします。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 1 - (2) 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	内科健診、歯科検診の結果については、会議で報告し周知している。記録の漏れや別紙資料の添付に漏れがあったため改善していく。					

完了予定日
(または完了日)

随時

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (3) 感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している。(8)		
	【判断基準】 a) 感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している。 b) - c) 感染症への対応については、発生の状況を必要に応じて保護者に対して連絡しているが、マニュアルなどはない。 d) 感染症への対応については、発生の状況を保護者に連絡していない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	b	「流行性疾患流行状況表」「疾患流行状況一覧表」「感染症治療状況一覧表」「感染症の『出席停止基準表』」、入口靴箱上に常置の「第三種伝染病についての保護者への確認書」「(通園許可)証明書」を確認し、視察とヒアリングにて、発生の状況は園内掲示にて保護者に伝達しており、対応については、文書化されたマニュアルはないが、確立された手順に基づいて実施されていることを確認した。現在マニュアルを準備中であるとのこと。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (3) 感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	b	推奨	感染症への対応について、文書化されたマニュアルはないものの、確立された手順に基づいて実施されていることを確認しました。現在マニュアルを準備中とのことですので、早急に作成し、職員間での周知を図ることをおすすめします。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 1 - (3) 感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	<p>感染症のマニュアルはないが、第1種～3種までの疾患名や出席停止等の基準表は事務室に張り出し職員へは周知され、保護者へも配布してある。今後さらに職員研修をし判断基準や感染症の理解に努めるようまたマニュアルも作成してまいります。</p>					

完了予定日
(または完了日)

随時

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (4) 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。(9)		
	【判断基準】 a) 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。 b) - c) - d) 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもに対する特別な取り組みを行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「アレルギーに関するアンケート」「アレルギー調査票」「一時的除去食申請書」「保育園給食個別対応申請書」「個人用献立チェック表」「生活状況調査面接票」を確認し、ヒアリングにて実施状況を聞き取り。園児のアレルギーに関する状況は左記の諸書類にて把握し、対応している。また給食の献立は事前に保護者に示し、要除去食材についてチェックをしてもらっている。	

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (5) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。 (50)		
	【判断基準】 a) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。 b) - c) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルはあるが、全職員に周知されていない。 d) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「火災・地震避難訓練要綱」「火災・地震避難訓練計画」「火災・地震避難訓練記録」「大規模地震を想定した引き取り訓練実施要領」「大規模地震を想定した引き取り訓練会議録」「和光市ほんちょう保育園消防計画」「避難訓練マニュアル」「危機管理マニュアル」を確認。実施状況として、防災・防犯に関するマニュアルがあり、読み合わせを行い、訓練によって周知を図っていることを確認した。	

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (6) 事故防止のための具体的な取り組みを行っている。(51)		
	【判断基準】 a) 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。 b) 事故防止のためのチェックリスト等はないが、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。 c) - d) 事故防止に向けた具体的な取り組みを行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	b	「事故報告書」「職員会議録」「保育士会議録」「事故報告書」を確認。チェックリスト等はないが、目視によって事故防止のための点検に努め、事故発生時は報告書に記録するほか、事故後は以後に活かすため臨時の会議を開くなどの取り組みを行っている。なお、事故後の会議については記録を確認していない。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 1 - (6) 事故防止のための具体的な取り組みを行っている。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	b	推奨	<p>保育実施にあたり、安全点検を各担当保育士が行っているとのことですが、チェックリスト等がないため、保育士間で点検の項目や方法にばらつきが生じる可能性があります。御園の設備・保育形態に沿ったチェックリスト等を策定し、安全点検手法の標準化を図られることをおすすめします。</p> <p>また、事故発生後は臨時の会議を行い、今後活かしているとのことでしたが、会議の記録が確認できませんでした。また、事故後の経過報告は「業務日誌」にて確認しましたが、それ以外の再発防止への取り組みについての記録が確認できませんでした。事故を議題とした会議は記録に残し、さらに事故報告書の回覧を行うなどによって情報・教訓を共有し、再発防止の一助となさってはいかがでしょうか。</p>

【施設記入】改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 1 - (6) 事故防止のための具体的な取り組みを行っている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検は、年齢別、保育場所、園舎内外、保育時間帯等によりどう対応するかクラス、組織で指示されています。しかし、その基準は統一されてない面もあり、「自己点検表」を自ら作成しその手法を統一していく必要があると考えています。よって設備や保育形態に沿ったチェックリスト等を作成していく予定です。 ・事故発生後の反省、対応、改善については記録「事故報告書」に記載しているが、職員全体へ口頭で報告及び改善について必要に応じ伝えているも、周知の記録漏れも一部あり今後は「改善策の確認」がとれるよう改善していく。 					

完了予定日 (または完了日)	随時
-------------------	----

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (7) 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている。(28)		
	【判断基準】 a) 虐待などの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている。 b) - c) 虐待などの早期発見に努めているが、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっていない。 d) 虐待などの早期発見に努めていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「和光市児童虐待防止ネットワーク」関係資料を確認。ヒアリングにて、主に視診によって発見に努め、疑いを察知した場合には担当から園長・主任・係長（看護師）に連絡する旨周知されており、園のソーシャルケースワーカーとも連携して対応を行うことを確認した。	

大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
評価項目	- 1 - (8) 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。 (29)		
	【判断基準】 a) 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所など関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。 b) - c) - d) 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所など関係機関に照会、通告を行う体制が整っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「和光市児童虐待防止ネットワーク」関係資料、「子育て支援相談票」を確認し、ヒアリングにて体制を確認。園のソーシャルケースワーカー、市担当課、市ケースワーカー、家庭児童相談所、市民生・児童委員、所沢市児童相談所などと連携を取れる体制にあるとのこと。	

項目別所見			
大項目名	運営管理	中項目名	- 1 子どもの健康・安全管理
施設名	記載内容		
ほんちょう保育園	日常の健康管理、感染症・アレルギーへの対応、災害・事故発生時の対応、事故防止への取り組み、虐待への対応、それぞれにおいて概ね取り組みが図られていることが確認されました。しかし、文書化されたマニュアルやチェックリストの策定・口頭連絡や会議内容の記録、事故情報の共有などについて、改善の余地がいくつか見受けられました。上記「推奨事項」もご参考の上、改善についてご検討なさってみてはいかがでしょうか。		

大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
評価項目	- 2 - (1) 情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。(48)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 園だより、クラスだより等を配布している。</p> <p>イ 園の掲示等による保護者への情報提供について、わかりやすく伝える工夫がみられる。</p> <p>ウ パンフレットや要覧等を園児の保護者以外にも配布している。</p> <p>エ 園外向けの掲示板やポスター等で、園の様子や行事などについて、地域の人に見てもらえるようにしている。</p> <p>オ ホームページや情報誌など誰もが容易に入手できる形態の広報媒体がある。</p> <p>カ 園の運営状況等についての情報を求めに応じて公開できるようにしている。</p> <p>【総合判断基準】</p> <p>a. 情報提供をよく行っている。 b. 情報提供を概ねよく行っている。 c. 情報提供をあまりよく行っていない。 d. 情報提供を行っていない。</p> <p>(判断のめやす)</p> <p>a.....不適合1点以下 b.....不適合2点 c.....不適合3～4点 d.....不適合5点以上</p> <p>《備考》</p> <p>「わかりやすく」: 伝達すべき情報が正確かつスムーズに(見づらい・読みづらいなどの負担を強いることなしに)伝わる(と判断できる)程度に。</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	<p>「園だより」「クラスだより」「ほけんだより」「パンフレット」、「新入園説明会関係書類」を確認し、視察とヒアリングにて実施状況を確認。「園だより」「クラスだより」を月1回発行し、保護者に配布している。パンフレットを市役所に常置しているほか、入園希望者、来園者にも配布し、行事の際にはポスターを玄関外の掲示欄や園正面の病院に掲示している。また、年齢によっては子どもの園内での活動の様子をビデオに撮影し、懇談会での上映や希望者への貸出しを行っている。</p>	

大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
評価項目	- 2 - (2) 一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。（ 25 ）		
	【判断基準】 a) 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加えて、別の機会を設けて相談に応じたり個別面談などを行ったりしている。 b) - c) 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換を行っているが、相談や個別面談には応じていない。 d) 一人一人の保護者と、子どもについて情報交換を行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「連絡帳」「年間行事予定表」「懇談会・懇親会・個別面談・保育参観記録」を確認し、実施状況をヒアリングにて聞き取り。懇談会・懇親会を年2回実施しているほか、個別面談は0~3歳児については年1回、4・5歳児については希望者と園側で必要と判断した対象者について実施している。（推奨事項参照）	
推奨事項 / 指摘事項		- 2 - (2) 一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	a	推奨	4・5歳児の個別面談については、希望者と園側で必要と判断した対象者についてのみ行っているとのことでしたが、希望者と園が指定した保護者のみ、という形態の場合、面談を行わなかった保護者の要望や意向が「声なき声」のまま埋もれてしまう可能性も否定できません。利用者アンケートにも、コミュニケーションの不足について指摘する声が散見されています。4・5歳児対象の個別面談の実施形態について、保護者の意向を探るなど、ご検討なさってみてはいかがでしょうか。

【施設記入】改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 2 - (2) 一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	0～3歳児に加え、4，5才児の個別面談については平成16年度は実施します。					

完了予定日 (または完了日)	平成16年4月
-------------------	---------

大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
評価項目	- 2 - (3) 日々の給食の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。(10)		
	【判断基準】 a) 日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じ、子どもの喫食状況を知らせている。 b) - c) 日々の献立を保護者に示しているが、喫食状況は知らせていない。 d) 日々の献立を保護者に示していない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「献立表」「連絡帳」「給食日誌」「検食簿」を確認し、ヒアリングと視察にて実施状況を確認。保護者には献立表を配布し、連絡帳で喫食状況を伝えている。	

大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
評価項目	- 2 - (4) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録され、関係職員に周知されている。(26)		
	【判断基準】 a) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録され、関係職員に共有されている。 b) - c) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されているが、関係職員に共有されていない。 d) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	b	「連絡帳」「児童票」「業務日誌」「職員会議録」「保育士会議録」「懇談会・懇親会・個別面談・保育参観記録」を確認し、実施状況をヒアリングにて聞き取り。保護者との情報交換の内容のうち、家庭の状況は「児童票」に記録され、日常の連絡は口頭および「業務日誌」にて、また重要なものは職員会議・保育士会議にて報告され、会議録の回覧によって周知が図られている。ただし、4・5歳児の個別面談の記録が一括管理されていない、会議録や個別面談の記録の回覧が徹底されていないなどの状況が確認されている。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 2 - (4) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録され、関係職員に周知されている。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	b	推奨	保護者との情報交換内容の周知について、重要なものは会議録の回覧によって周知を図っているとのことでしたが、回覧は正規職員・フルパート職員レベルにとどまり、短時間パート職員にまでは徹底されていないとのご見解をヒアリングにて伺いました。また、同様のことが個別面談記録についても確認されたほか、4・5歳児の個別面談記録については一つのファイルにとりまとめて管理されておらず、情報検索の上で不便な状態にあります。利用者アンケートにも、保育士間の情報共有について指摘する意見がみられます。情報管理のあり方について再度検討するとともに、重要な情報については職階を問わず回覧を徹底し、職員間の情報共有について、改善を図られることをおすすめします。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 2 - (4) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録され、関係職員に周知されている。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	情報交換の共有について、周知のシステムは確立されているも、理解されていない面もあり情報提供のみならずその確認も図れるよう職員間で努めて行きます。					

完了予定日
(または完了日)

随時

大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
評価項目	- 2 - (5) 保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。(49)		
	【判断基準】 a) 日常的に保護者と接する場面で意見を聞く以外に、懇談会や保育への参加の機会を設けるなど、保護者の意見を聞くための取り組みを行うとともに、その意向に配慮している。 b) 日常的に保護者と接する場面で意見を聞く以外に、懇談会や保育への参加の機会を設けるなど、保護者の意見を聞くための取り組みを行っている。 c) - d) 日常的に保護者と接する場面で意見を聞く以外には、保護者の意見を聞くための取り組みを行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「年間行事計画」「懇談会実施要領」「懇親会実施要領」「懇談会・懇親会・個別面談・保育参観記録」「苦情処理関連資料」を確認。懇談会・懇親会の際には、出欠確認の用紙に要望や質問の記入欄を設けて保護者の意向の把握に努めるとともに、席上でそれらへの回答も行い、実施後には反省や報告をまとめ、職員間での共有を図っている。また苦情解決制度を設け、保護者にも周知している。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 2 - (5) 保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	a	推奨	懇談会・懇親会実施後は反省や報告をまとめ、職員会議での報告とあわせ、担当職員に周知しているとのことでしたが、それらの周知は正規職員・フルパート職員レベルにとどまり、短時間パート職員にまでは徹底されていないのご見解をヒアリングにて伺いました。出欠確認用紙を使った要望・質問の採取といった意欲的な取り組みの成果を全職員で共有するためにも、職階にかかわらず回覧を徹底することをおすすめします。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 2 - (5) 保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	懇談会、懇親会の実施前に要望等を確認し、実施後その意見、要望を取り入れるようにも努力してまいりました。その周知については情報の内容により職階により情報提供の判断をしています。					

完了予定日
(または完了日)

随時

大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
評価項目	- 2 - (6) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。(27)		
	【判断基準】 a) 懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者の保育参加など、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。 b) - c) 懇談会などの話し合いの場を設けているが、保護者と共通理解を得るための機会を設けていない。 d) 懇談会などの話し合いの場を設けていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「年間行事計画」「懇談会実施要領」「懇談会配布資料」「懇親会実施要領」「懇親会配布資料」「保護者の会主催バザー案内」を確認。懇談会・懇親会において、話し合いのほかに保育や子育てに関する年齢に応じた資料を用意したり、保護者の会主催の行事に職員が参加したりするなど、共通理解を図るための取り組みを行っていることをヒアリングにて確認した。	

項目別所見			
大項目名	運営管理	中項目名	- 2 情報提供・保護者とのコミュニケーション
施設名	記載内容		
ほんちょう保育園	情報提供および保護者とのコミュニケーションについて、概ね適切に取り組みが行われていることを確認しましたが、保護者との情報交換の内容について、その記録の管理や職員間での情報共有のあり方に一部改善を要する事項がみられます。保護者にとってはどの保育士も園の代表であり、利用者アンケートからも、子どもの状況その他の重要な情報については、保護者との共通理解や職員間での共有が図られてほしいという意向が読み取れます。今後の改善への取り組みが望まれます。		

大項目名	運営管理	中項目名	- 3 人材育成
評価項目	- 3 - (1) 職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。(46)		
	【判断基準】 a) 職員の資質向上に向けた目標に基づき、各職員についてどのような技術・技能を修得する必要があるかを把握し、適切な研修機会の確保を行っている。 b) 職員の研修機会は確保しているが、職員の資質向上に向けた目標に基づき、各職員についてどのような技術・技能を修得する必要があるかを把握していない。 c) - d) 職員の研修機会を確保していない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	b	「研修会議録」「復命書ファイル」「研修派遣計画書」を確認し、ヒアリングにて実施状況を確認。園長と研修担当者が合議の上、各職員の資質・能力に応じた研修機会の確保を図り、外部研修への派遣等を行っている。(推奨事項参照)	
推奨事項 / 指摘事項		- 3 - (1) 職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	b	推奨	研修機会の確保について、園長と研修担当者が合議し、各職員の資質に応じて研修派遣の振り分けを行っているとのことでしたが、それに関する記録が確認できませんでした。また、研修内容については定期的に報告会を実施し、職員間での共有を図っているとのことでしたが、記録が残されていませんでした。各研修受講者の「復命書」ファイルから、研修派遣を積極的に行っていることは確認されています。今後は現在の一連の研修体制を記録に残すしくみを整えられるとともに、研修報告書の作成とその回覧、研修受講者を講師とした園内研修の実施など、研修結果を職員間で共有するための取り組みをさらに強化なさってみてはいかがでしょうか。 また、各職員において特定された、向上・習得が必要な資質・技能について、それぞれに目標を設定し、達成度を定期的にチェックするといった、いわゆる目標管理のシステムを確立し、職員の資質の向上と均質化をより効果的に行ってゆかれることも、あわせておすすめします。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 3 - (1) 職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	研修報告を実施し実践に結びつけるよう各研修を生かしています。しかし、各職員の資質向上、技能の目標及び達成度など目に見える形での目標システムは不十分です。効果的に園の運営に反映できるシステム化を目指してまいりたいと考えます。					

**完了予定日
(または完了日)**

随時

大項目名	運営管理	中項目名	4 守秘義務
評価項目	- 4 - (1) 守秘義務の遵守を周知している。(47)		
	【判断基準】 a) 保育にあたり知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持に関する規程が定められ、遵守すべき事項を周知の上、実施されている。 b) 保育にあたり知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持に関する規程は定められていないが、遵守すべき事項が周知され、実施されている。 c) 保育にあたり知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、遵守すべき事項が周知されているが、実施されていない。 d) 保育にあたり知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、職員に周知していない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	C	「児童票」は事務室。連絡網は作成していないが、電話連絡表は作成し、コピーを非常時持ち出し袋に1枚入れ、原本は事務室にて保管している。守秘義務を遵守するにあたっての規程（就業規則）及びフルパート業務内容（オリエンテーション）資料を確認。ただ、その取り扱いについて一部配慮に欠ける部分が見られた。（指摘事項参照）	
推奨事項 / 指摘事項		- 4 - (1) 守秘義務の遵守を周知している。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	C	指摘	玄関に設置してある「登降園時刻表」には個人の名前と預かり時間帯が明記してありました。また、2歳児の部屋には個人連絡帳入れがあり登降園に各自が出し入れするようになっていきますし、連絡帳入れの名札の裏には保護者名・電話番号が記載されていました。また、3歳以上児は登園の際に連絡帳を箱の中に個人的にいれるようになっていきますし、2歳児の部屋には「衣類貸出表」、0・1歳児の部屋や2歳児の部屋の園児整理棚の上には職員の書類や持ち物、発達記録用のファイルが置かれてありました。送迎に関しては各部屋に職員のいない状況で送迎の準備が行われる時間帯もあるしくみになっていきますので、個人情報の情報が漏洩する可能性があります。個人情報の管理に関しては、十分に配慮をして下さい。

【 施設記入 】 改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 4 - (1) 守秘義務の遵守を周知している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	<p>・個人情報の管理は、クラスに張り出していた各個人のチェック表はファイル保管とし、名札についても改善しました。諸書類の保管場所も所定の位置としました。延長保育に関する時間記録については、検討しましたが現行どおりとします。</p>					

**完了予定日
(または完了日)**

平成16年3月

項 目 別 所 見			
大項目名	運営管理	中項目名	- 3 人材育成 / 4 守秘義務
施設名	記 載 内 容		
ほんちょう保育園	<p>人材育成については、一定の研修機会が確保され、積極的な取り組みがなされていますが、それらの運用の記録が残されていない、研修結果の職員間の共有が図られていないなど、いくつかの改善の余地も見受けられました。各職員の能力に応じた目標管理制度とあわせ、より効果的な能力向上を図られることを期待します。また、守秘義務の遵守について改善が必要な実態がありますので、その対処に向け、早急に着手されることが望まれます。</p>		

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 1 多様な子育てニーズへの対応
評価項目	- 1 - (1) 多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行い、それを事業に反映している。(30)		
	<p>【判断基準】</p> <p>a) 多様な子育てニーズの把握と、それに対応した計画策定と実施、関連機関との連携、職員の資質向上のための教育が適切に行われている。</p> <p>b) 多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行い、それを事業に反映させている。</p> <p>c) 多様な子育てニーズを把握するための取り組みは行っているが、それを事業に反映させていない。</p> <p>d) 多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行っていない。</p> <p>(取り組みの結果把握したニーズが現行のサービスの範囲内にとどまっている場合は、挙証材料による事実確認ができれば a としてよい)</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「延長保育実施要綱」「懇談会・懇親会・個別面談・保育参観記録」「研修会議録」「復命書ファイル」「研修派遣計画書」「地域交流事業」関係資料を確認。保護者や園開放時の来園者とのコミュニケーション、市の利用者アンケートなどからニーズの把握に努め、日々の保育や園の事業への反映を図っている。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 1 多様な子育てニーズへの対応
評価項目	- 1 - (2) 育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。(31)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 電話やファクスなどによる子育て相談を行っている。</p> <p>イ 来園による子育て相談を行っている。</p> <p>ウ 育児情報の提供を行っている。</p> <p>エ 地域の子育て家庭の親子が定期的集まる機会を設けている。</p> <p>オ 地域の子育て家庭の親子と園に通っている親子が交流する機会を設けている。</p> <p>カ 地域の母子保健活動と連携した取り組みを行っている。</p> <p>【総合判断基準】</p> <p>a.よい取り組みが行われている。 b.概ね取り組みが行われている。 c.取り組みが不十分である。 d.取り組みが行われていない。</p> <p>(判断のめやす)</p> <p>a.....不適合1点以内 b.....2点不適合 c.....3～4点不適合 d.....不適合5点以上</p> <p>(地域性により、上記取り組みの実施事例に乏しい場合は、取り組みのための体制が整っていることの実事確認ができれば、実施されていると判断してよい。また、上記取り組みのうち実施の必要がない、もしくは困難であると判断できるものは、基準から除外し、不適合にカウントしない)</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「子育て支援相談受付簿」「子育て支援相談票」「遊ぼう会」関係資料、夏祭り関係資料を確認。子育て相談を随時受け付け、年30回の園開放(遊ぼう会)や夏祭りなど、地域の子育て家庭の来園の機会を設けている。また、子育て関連の情報や各種行事に関するポスターの掲示、パンフレット・チラシの配布を行っている。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 1 多様な子育てニーズへの対応
評価項目	- 1 - (3) 一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。(32)		
	<p>【判断基準】</p> <p>ア 一時保育のための保育室などの確保に配慮している。</p> <p>イ 一時保育のための担当者が決められている。</p> <p>ウ 一人一人の子どもの日々の状態を把握している。</p> <p>エ 保護者とのコミュニケーションを十分にとっている。</p> <p>オ 一時保育の子どもと通常保育の子どもとの交流に配慮している。</p> <p>【総合判断基準】a.一時保育の内容や方法によく配慮している。 b.一時保育の内容や方法に概ね配慮している。 c.一時保育の内容や方法に対する配慮が不十分である。 d.一時保育の内容や方法に配慮していない。</p> <p>(判断のめやす) a.....不適合なし b.....ア～エ適合、オのみ不適合 c.....ウが不適合 d.....ア・イが不適合</p> <p>一時保育を実施していない施設は本項目の評価を行わず、その旨付記する。</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「一時保育事業育成保育関係」綴り「一時保育等利用申込書」「一時保育面接質問事項」「一時保育用連絡帳」を確認。本園においては育成（障害児）保育にのみ一時保育を行っている。健常児との交流を目的とした利用に対応し、各年齢のクラスにて受け入れている。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (1) 保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。(33)		
	【判断基準】 a) 地域の関係機関についての情報を収集し、それを職員が共有している。 b) - c) 地域の関係機関についての情報を収集しているが、それを職員が共有していない。 d) 地域の関係機関についての情報を収集していない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	b	「和光市児童虐待防止ネットワーク」関係資料、「四つ葉（和光・志木・朝霞・新座）子育て支援会議」資料、「学校評議員会・和光市心の教育推進委員会」資料を確認。警察・消防・医療機関の連絡先などは事務室に掲示している。その他については閲覧可能な状態で管理されているが、全職員間で情報の共有が図られているわけではないとのこと。（推奨事項参照）	
推奨事項 / 指摘事項		- 2 - (1) 保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。	
施設名	評価	種別	記載内容
ほんちょう保育園	b	推奨	関係機関などの情報について、回覧の不徹底など、必ずしも全職員において共有が図られているわけではない場合があることを、自己評価およびヒアリングにて確認しました。情報のうち重要なものについては、会議での報告と文書の回覧を徹底し、職階にかかわらず全職員間で共有を図ることをおすすめします。

【施設記入】改善計画 / 改善状況レポート

記入日	平成16年3月26日	施設名	ほんちょう保育園	改善にあたっての 担当者または責任者	土田憲久	役職：園長
評価項目	- 2 - (1) 保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。					
推奨 / 指摘事項について、 右記のように改善します。 (改善しました。)	目的、ねらい等が理解できるようさらに努めます。					

完了予定日 (または完了日)	随時
-------------------	----

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (2) 子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。(34)		
	【判断基準】 a) 子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。 b) - c) - d) 医療機関などに相談や連携ができる体制になっていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「0歳児検診(7・9・1・3月実施)」「内科検診(5・11月実施)」の際には、保護者へは「定期健康診断結果(内科)お知らせ」を配布し治療を促していること、「歯科検診(6月実施)」の際には、保護者へは「歯科検診とその内容説明について・歯科治療証明書」を配布し治療を促していることを確認。嘱託医もしくは主治医へ証明書を持参し、健康診断を受ける体制をとっている。健康管理に関しては、看護師または必要に応じて嘱託医より指示を受けられるようになっている。また、薬の投薬に関して必要に応じて看護師より直接病院に電話連絡をするように配慮している。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (3) 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。(35)		
	【判断基準】 a) 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。 b) - c) - d) 児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「M・B児ケース報告書」「職員会議録」を確認。その事例について園長からヒアリングを行った。所沢児童相談所や家庭児童相談員との連携して対応したことを確認した。また育成対象児については療育センターから助言をもらって対応するなど、関係機関との連携が図られていることが確認された。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (4) 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。(36)		
	【判断基準】 a) 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。 b) 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会、もしくは職員間の話し合い、研修などの連携の機会を設けている。 c) - d) 小学校との間での小学生と園児の交流または職員間の連携について、機会を設けていない。 (地域や自治体の事情等により、小学校との交流・連携が困難である場合は、評価を行わず、特記欄にその旨付記すること)		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「夏祭り参加者名簿」「市保育問題研究会資料」を確認。園の夏祭りや運動会に卒園児や近隣の小学生が参加するなど活発に交流を図っている。また市保育問題研究会では年1回小学校教諭との情報交換や交流を図っている。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (5) 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。(37)		
	【判断基準】 a) 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。 b) - c) - d) 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	ヒアリングにて、園長が「学校評議委員会」の評議員の委嘱を受けており、また「心の教育推進運動委員」の委嘱も受けているため、民生・児童委員や地域自治会との交流が図られていることを確認した。また保育園としても「あいさつ運動」に取り組み、園児が登園後、正門前で近隣住民や通行人にあいさつを行い、市の広報誌に紹介されるなど、活発に取り組みが行なわれていることを確認した。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (6) 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。(38)		
	【判断基準】 a) 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。 b) - c) - d) 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「行事实施要領」「夏祭り計画書」を確認。近隣に夏祭りチケットを配布し、行事ポスターの掲示や地域子どもたちへの行事参加の誘いかけを行っている。またヒアリングにて、「遊ぼう会」で実施した「焼き芋会」「餅つき会」ではポスターの掲示のほか、C Iハイツの公園管理者から掃き集めた落ち葉をもらう協力を得たり、落ち葉焚きの煙についての理解を近隣に求めたりといった配慮を確認した。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 2 地域住民や関係機関・団体との連携
評価項目	- 2 - (7) 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。(39)		
	<p>【判断基準】</p> <p>a) 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。</p> <p>b) 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受け入れの担当者が決められていない。</p> <p>c) -</p> <p>d) 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。</p> <p>(地域の事情などから保育体験受け入れの必要や事例がない場合は、評価を行わず、特記欄にその旨付記すること)</p>		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「職場体験依頼書(回覧済み)」「職員会議録」を確認。「職場体験依頼書」には意義や目的が掲載されており、全職員に回覧周知してあった。またヒアリングでは、主任保育士が担当となり、その受け入れクラス担当者が事前に主任や園長と受け入れ内容について協議し、実施後に職員会議でその様子を報告していることを確認した。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 3 実習・ボランティア
評価項目	- 3 - (1) 実習生を受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。(40)		
	【判断基準】 a) 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。 b) 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、実習担当者が決められていない。 c) - d) 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「職員会議録(1月)」「実習生オリエンテーション」「保育実習概要」を確認。「実習生オリエンテーション」「保育実習概要」については回覧され、全職員に周知されていた。またヒアリングにて、主任保育士が担当となり、担当職員と主任が口頭で打ち合わせを行い、意義や方針を伝えて計画的に実習を行っていることを確認した。	

大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 3 実習・ボランティア
評価項目	- 3 - (2) ボランティアを受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。(41)		
	【判断基準】 a) ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。 b) ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受け入れの担当者が決められていない。 c) - d) ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。 (地域の事情などからボランティア受け入れの必要や事例がない場合は、評価を行わず、特記欄にその旨付記すること)		
施設名	評価	判断根拠	
ほんちょう保育園	a	「ボランティア受け入れ予定表(7/16策定)」「職員会議録(8/20)」を確認。ボランティアについての受け入れ内容や方針、受け入れクラスなどが定められ、受け入れが計画的に実施されていた。ヒアリングにて、ボランティアの意義や目的については、職員会議で口頭にて伝えているとのことで、職員会議録にその記録が確認された。	

項 目 別 所 見			
大項目名	多様な子育てニーズへの対応 / 地域住民・関係機関との連携	中項目名	- 1 多様な子育てニーズへの対応 / - 2 地域住民や関係機関・団体との連携 / - 3 実習・ボランティア
施設名	記載内容		
ほんちょう保育園	子育てニーズへの対応、関係機関・近隣との協力、実習生・ボランティア等の受け入れの各項目について、実施と努力を図っていることが確認されました。今後も地域に開かれた子育て支援拠点としての役割を果たすべく、意欲的な姿勢で取り組みを図ってゆかれることを期待します。		

「特記すべき本園の特長」

【ほんちょう保育園】

特記すべき 本園の特長

- ・「クラス会議」「保育士会議」「職員会議」「ブロック別会議」など、職員の共通理解や情報共有の場が定期的かつ子どもの年齢に応じて開催されており、園全体できめ細やかな保育の提供を図れるように心がけています。
- ・異年齢の子どもたちが交流できる「幼児集会」を積極的に取り入れ、子どもの思いやりの心を育む保育を実施しています。
- ・世代間交流や園開放事業を積極的に実施し、地域の人達とのふれあいの場をたくさん提供する保育を実施しています。
- ・農作物の育成やその収穫と調理保育、職員による献立の創意工夫によって、子どもの食物への関心と食べることへの意欲や楽しみを育む保育を実施しています。